

H30年度国土交通省「BIM/CIMリクワイヤメント」への対応

会社名	オートデスク株式会社
ソフトウェア名	Autodesk AEC Collection (AECコレクション)
適用分野	土木全般
適用フェーズ	業務・工事・管理等土木事業全般

国交省		オートデスク株式会社	
No.	BIM/CIMリクワイヤメント項目	H30年度施策	ソフトウェアの対応状況
1	契約図書化に向けたCIMモデルの構築（設計・施工）	新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。	対応済み ・保存したビューに必要な情報（寸法や属性など）を付加 ・ビュー毎に違う角度で違う情報の確認 ・動的に寸法や標高などを表示
2	関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行	新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。	対応済み ・ブラウザ上で表示・属性確認・任意断面表示・距離・面積等計測・朱書き ・モバイル端末対応
3	属性情報の付与	付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。 （H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）	対応済み ・土木構造物の設計を進めると同時に必要とする属性情報をプロパティ画面で付加、その情報を元に速やかに集計表を作成 ・プロパティセットを使い必要な情報をセットで管理 ・属性をIFCに書き出し
4	CIMモデルによる数量、工事費、工期算出	3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。	対応済み ・施工ステップに沿ったモデルの構築 ・仮設や施工計画用の部品提供（CUGやサンプルデータなど） ・土量算出、仮設計画、概算事業費と工期の算出
5	CIMモデルによる効率的な照査の実施	詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。	対応済み ・既存構造物とモデルの干渉を照査 ・鉄筋同士および鉄筋と部材等の干渉について照査 ・施工時のシミュレーション等により支障物、ヤード、交通条件等施工計画の妥当性を照査
6	施工段階でのCIMモデルの効率的な活用	施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。	対応済み ・現場条件の変更が生じた場合のモデル変更 ・現況地形の変更に土工数量が対応 ・支保パターンを変更した3Dモデルを作成 ・施工時に必要な形状や属性の作成
7	その他【現場特性に応じて設定】	実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。	対応済み ・住民説明・担当者協議用にモデルを活用
		その他、補足等	対応方法、操作テキスト、トレーニングやセミナー、事例等の情報は http://bim-design.com/infra/iconstruction/ などで順次提供してまいります。